

## 2022年（令和4年）がんの75歳未満年齢調整死亡率について

健康政策課

国立がん研究センターが、2022年（令和4年）におけるがんの75歳未満年齢調整死亡率を公表しました。

※75歳未満がん年齢調整死亡率・・・都道府県間において死亡状況の比較ができるよう、S60年の全国人口の年齢構成により統計上の調整を行うことで、地域間の年齢構成のばらつきによる影響が出ないよう算出されたもの。

### 1 概要

○死亡率（人口10万対）及び都道府県別順位

男女計：73.7（昨年：68.1）【全国値67.4】 41位（昨年：28位 一昨年：23位）

男性：89.2（昨年：87.3）【全国値81.1】 38位（昨年：36位 一昨年：35位）

女性：59.4（昨年：50.3）【全国値54.9】 40位（昨年：11位 一昨年：6位）

- ・男女計の死亡率は73.7（全国41位）となり、昨年の68.1（全国28位）より増加し、県がん対策推進計画の目標値（70.0）を超過
- ・男性の死亡率は89.2（全国38位）で、昨年の87.3（全国36位）より増加したが、2年連続で、計画目標値（90.0）を達成
- ・女性の死亡率は59.4（全国40位）で、昨年の死亡率50.3（全国11位）より増加し、2年連続で、計画目標値（50.0）を超過

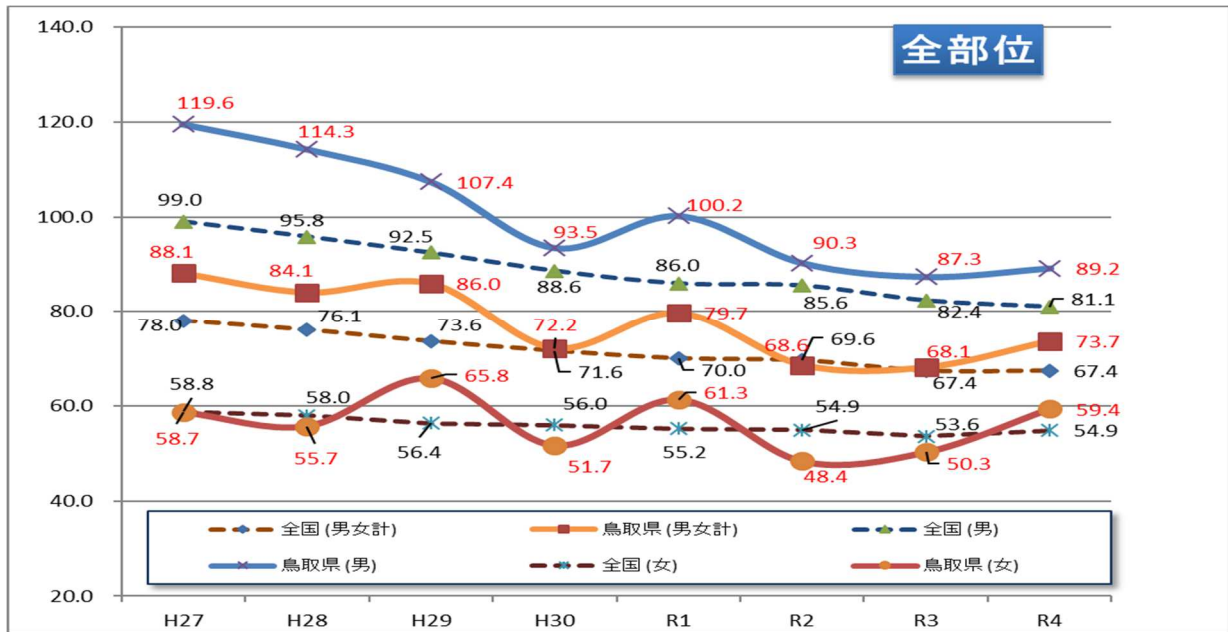
【主な増加部位】胃女性1.5増（R3:3.5→R4:5.0）、肺女性2.5増（R3:4.7→R4:7.2）

○女性の死亡率の増加が全体の死亡率を引き上げた形。女性の死亡率は、全国的に増加（33都道府県が昨年比増）しており、全国値も1.3増で9年ぶりに増加に転じている。全国の状況把握や本県との比較など、今後詳細な分析を行う。

○なお、近年の傾向として、男性では、胃がん、肺がん、肝臓がん、女性では、胃がん、肝臓がんの死亡率が全国値より高い。

○コロナ禍で下がった検診受診率の回復・向上を図りつつ、引き続き、総合的ながん対策（医療提供体制、がん予防対策等）を推進していく。

### 2 75歳未満がん年齢調整死亡率（人口10万対）の推移



### 3 主な部位別75歳未満がん年齢調整死亡率（人口10万対）と都道府県順位

区分		全部位		胃		肺		大腸		肝臓		乳房		子宮	
		死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位
男女計	令和4年	73.7	41	8.6	44	13.3	43	10.8	38	3.3	17				
	令和3年	68.1	28	8.5	45	11.7	22	10.0	34	3.7	25				
男性	令和4年	89.2	38	12.5	44	19.8	38	12.5	26	4.3	4				
	令和3年	87.3	36	13.7	46	19.2	35	11.0	9	6.0	24				
女性	令和4年	59.4	40	5.0	41	7.2	45	9.3	46	2.3	44	7.4	4	6.8	43
	令和3年	50.3	11	3.5	13	4.7	10	9.3	46	1.6	29	6.3	1	6.0	44



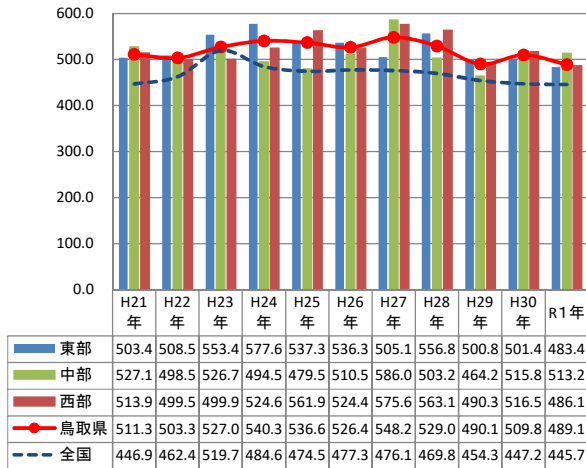
# 圏域別がん年齢調整罹患率(H21～R1)

(鳥取県がん登録事業報告書より)

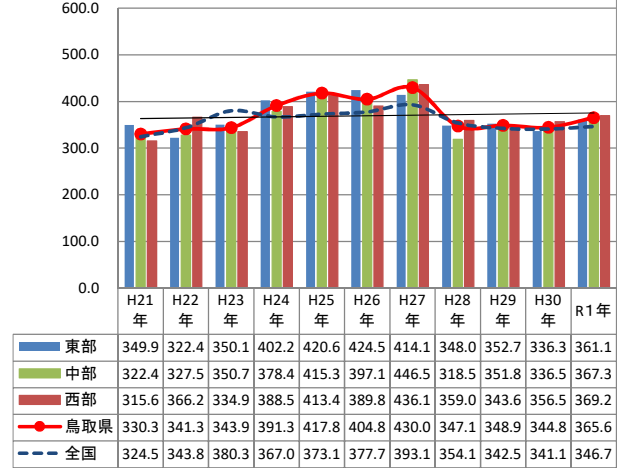
## ○中部圏域の状況

・県平均と比べ、男性では胃がん・肺がんが高く、女性では胃がん・肝臓がん・乳がんが高い。

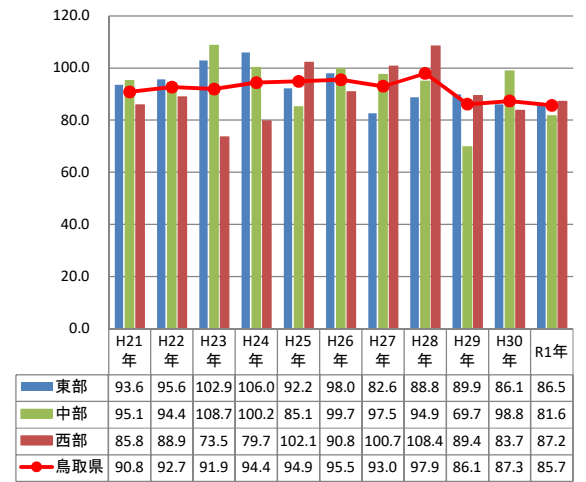
各圏域別 全部位がん年齢調整罹患率 (男性)



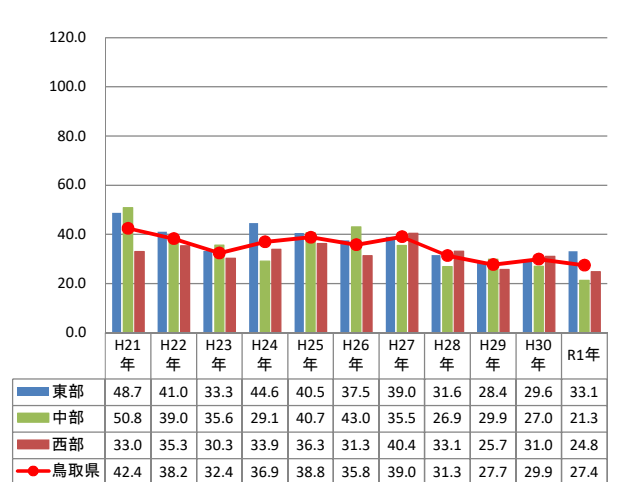
各圏域別 全部位がん年齢調整罹患率 (女性)



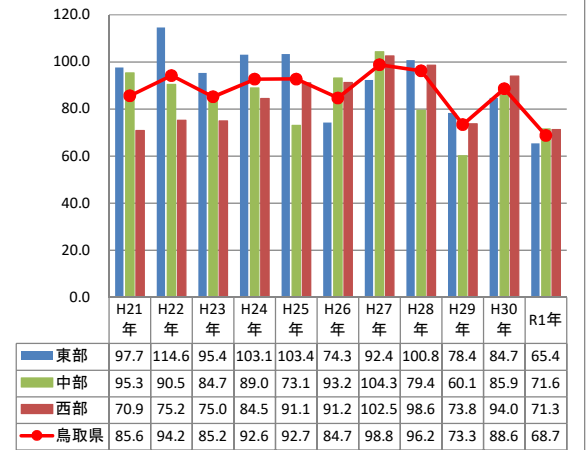
各圏域別 胃がん年齢調整罹患率 (男性)



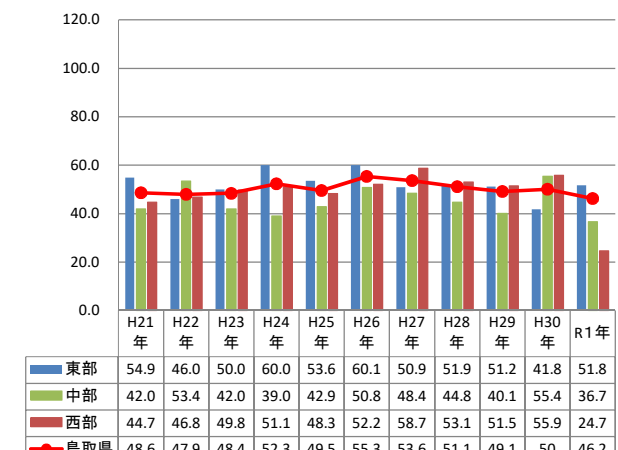
各圏域別 胃がん年齢調整罹患率 (女性)



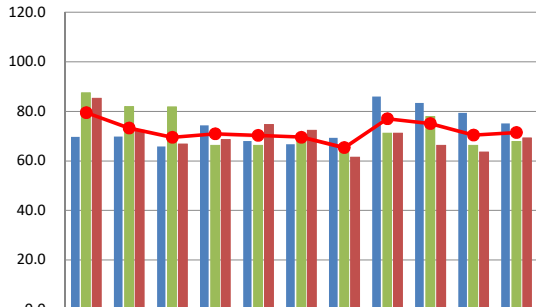
各圏域別 大腸がん年齢調整罹患率 (男性)



各圏域別 大腸がん年齢調整罹患率 (女性)

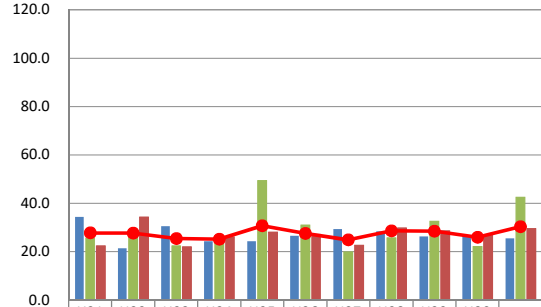


各圏域別 肺がん年齢調整罹患率  
(男性)



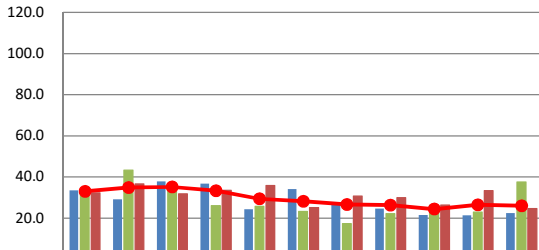
	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
東部	69.6	69.7	65.7	74.3	68.0	66.7	69.3	85.9	83.3	79.3	75.1
中部	87.4	81.9	81.8	66.3	66.3	70.2	66.4	71.2	77.9	66.3	67.8
西部	85.2	72.3	66.8	68.6	74.7	72.3	61.5	71.2	66.3	63.5	69.2
鳥取県	79.5	73.2	69.5	70.9	70.3	69.6	65.3	77.0	75.1	70.4	71.4

各圏域別 肺がん年齢調整罹患率  
(女性)



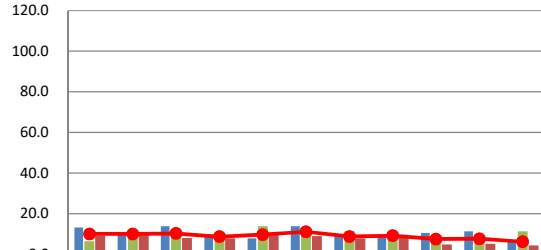
	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
東部	34.3	21.4	30.5	24.3	24.3	26.6	29.3	28.4	26.3	26.5	25.5
中部	25.6	26.3	22.4	24.5	49.4	31.0	19.9	25.8	32.6	22.2	42.6
西部	22.5	34.4	22.1	26.1	28.1	27.2	22.7	29.8	28.7	27.1	29.6
鳥取県	27.8	27.7	25.5	25.2	30.8	27.5	24.9	28.6	28.5	26.0	30.4

各圏域別 肝臓がん年齢調整罹患率  
(男性)



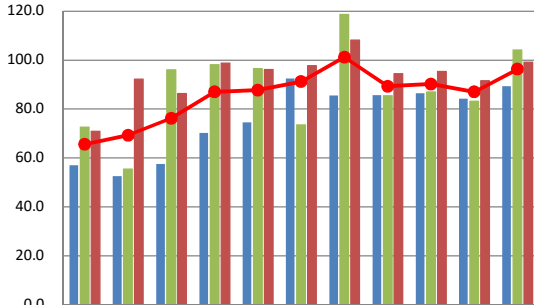
	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
東部	33.6	29.2	37.9	36.8	24.4	34.2	26.5	24.6	21.6	21.4	22.5
中部	33.3	43.4	36.1	26.0	25.7	23.2	17.4	22.2	26.3	22.9	37.6
西部	32.3	36.6	31.9	33.6	35.9	25.2	30.8	30.0	26.4	33.4	24.7
鳥取県	33.0	34.9	35.2	33.4	29.5	28.3	26.7	26.4	24.4	26.5	26.1

各圏域別 肝臓がん年齢調整罹患率  
(女性)



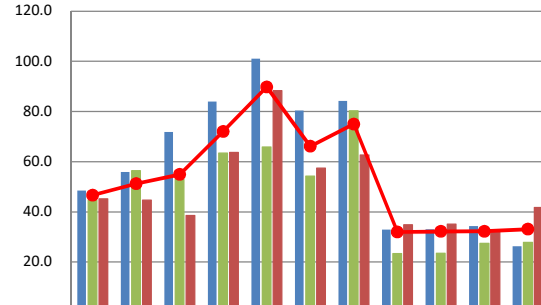
	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
東部	13.3	11.1	13.8	9.7	7.9	13.9	9.0	8.4	10.5	11.3	6.1
中部	6.2	7.6	9.0	9.6	13.5	10.6	11.2	10.4	8.0	6.6	11.0
西部	8.8	10.2	7.7	7.6	9.5	8.7	7.5	9.3	4.5	4.8	4.1
鳥取県	10.1	10.0	10.3	8.7	9.7	11.1	8.8	9.2	7.5	7.7	6.2

各圏域別 乳がん年齢調整罹患率  
(女性)



	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
東部	57.0	52.5	57.5	70.2	74.5	92.5	85.6	85.7	86.4	84.2	89.3
中部	72.6	55.5	96.0	98.1	96.5	73.4	118.7	85.4	87.0	83.2	104.1
西部	70.9	92.2	86.3	98.8	96.1	97.8	108.2	94.5	95.3	91.6	99.2
鳥取県	65.6	69.3	76.2	87.0	87.7	91.2	101.2	89.3	90.2	87.0	96.3

各圏域別 子宮がん年齢調整罹患率  
(女性)



	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
東部	48.5	55.9	71.8	84.0	101.1	80.3	84.2	32.9	33.1	34.3	26.3
中部	44.7	56.4	53.0	63.5	65.8	54.2	80.3	23.4	23.5	27.5	27.9
西部	45.2	44.7	38.6	63.7	88.3	57.5	62.7	34.8	35.1	32.0	41.7
鳥取県	46.6	51.2	54.9	72.1	89.8	66.1	75.0	32.0	32.2	32.3	33.1

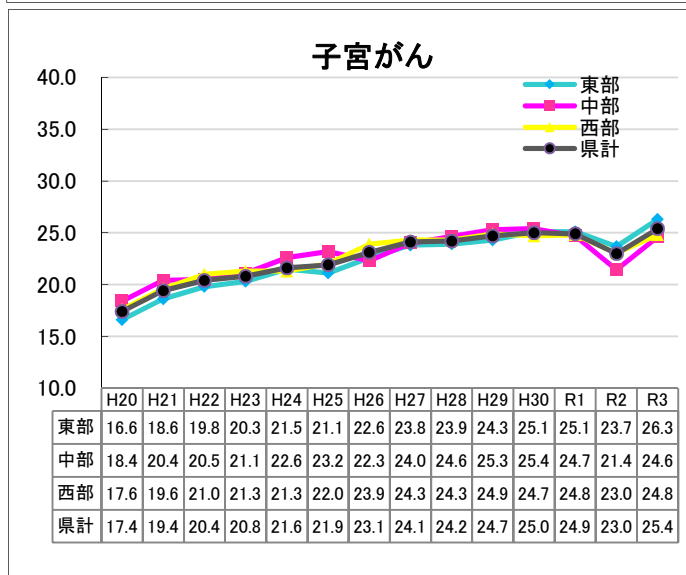
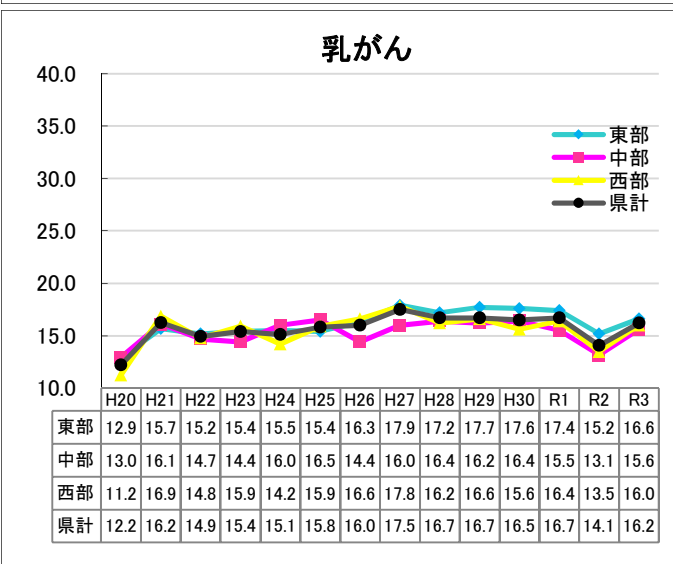
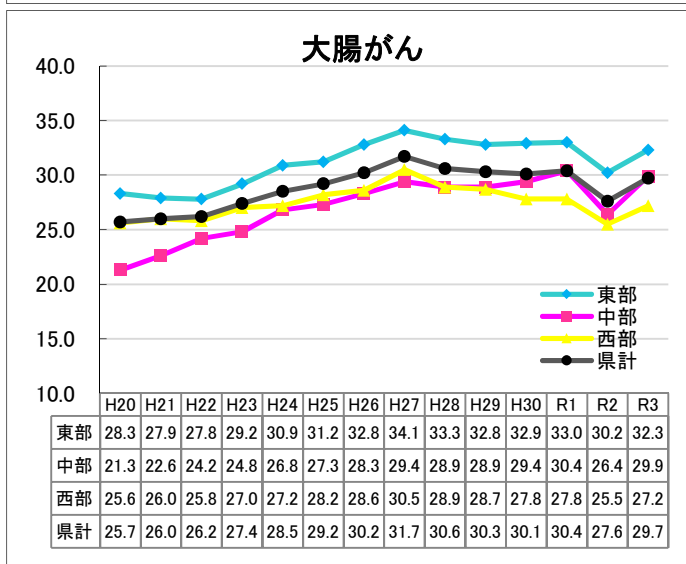
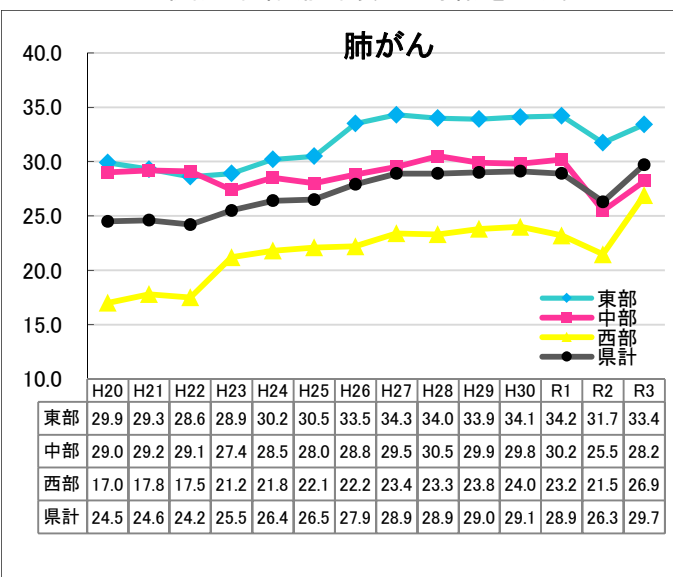
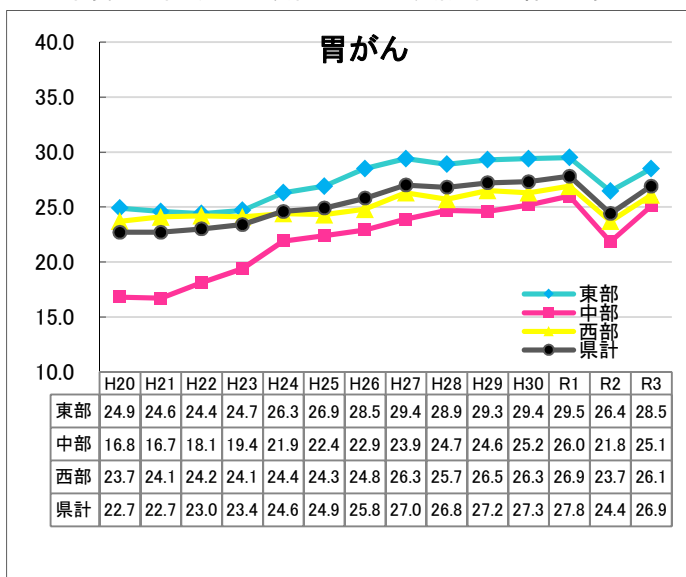
# 中部圏域がん検診受診状況

参考資料 4

## 1 圏域別がん検診受診率(H20年～R3年度推移)

○R2年度の受診率が停滞していたのはコロナの影響が考えられる。R3年度の受診率をR元年度と比較すると受診率は戻りつつあるが、R元年度受診率の水準までは回復しきっていないものもある。

○R3年度は全圏域の全項目において受診率の増加が見られた。 ○どのがん検診も目標(前年度の1割増)を達成。



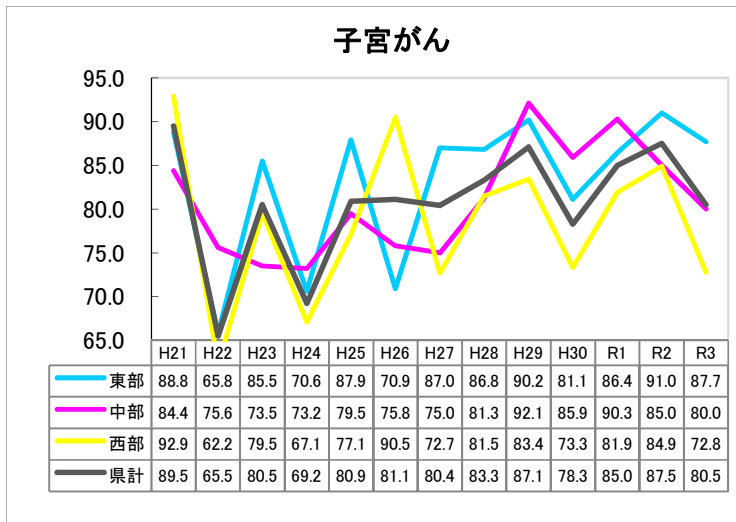
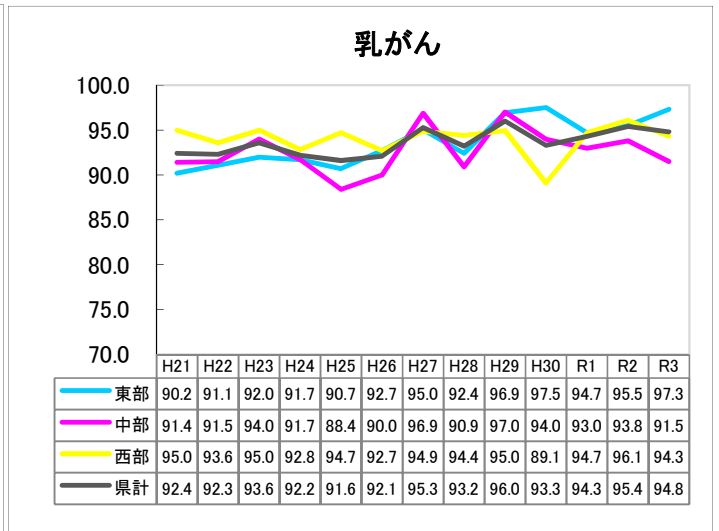
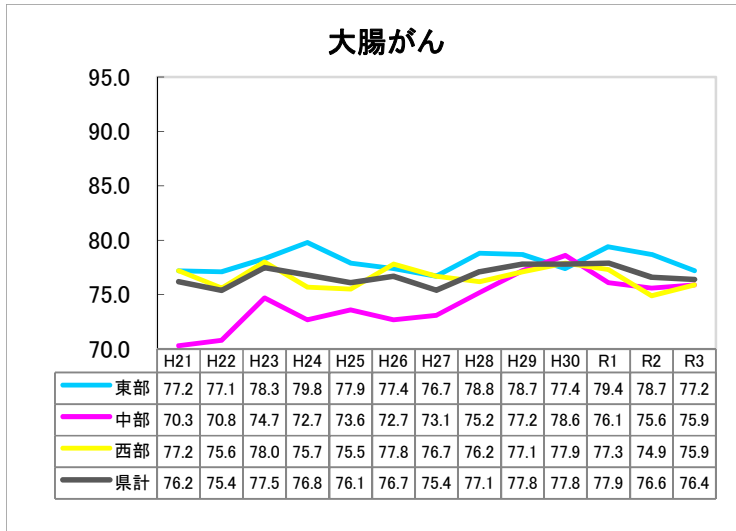
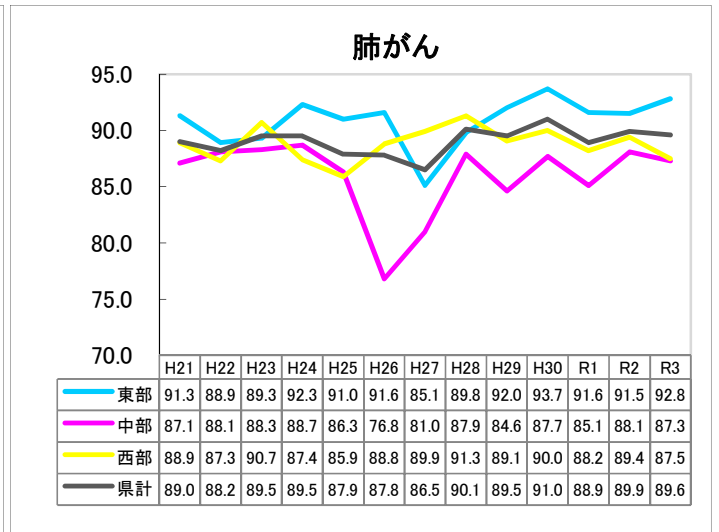
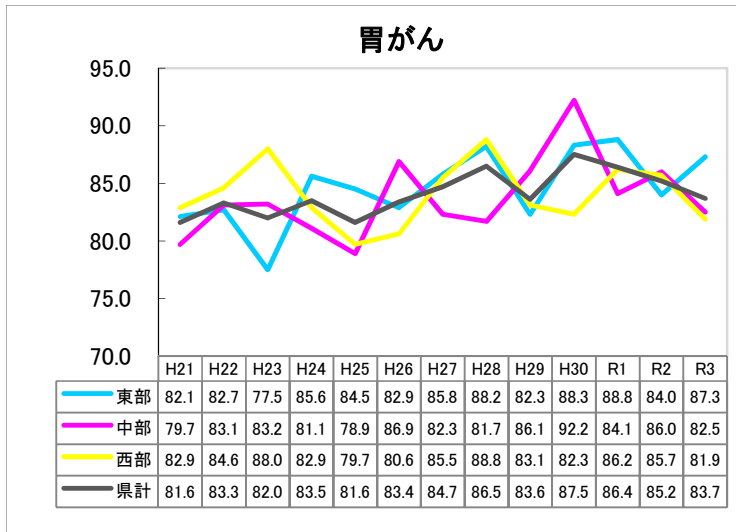
## 中部圏域における令和3年度受診率の目標と実績

	R1実績	R2実績	R3実績	目標値 対前年度の1割増
胃がん	26.0	21.8	25.1	24.0
肺がん	30.2	25.5	28.2	28.1
大腸がん	30.4	26.4	29.9	29.0
乳がん	15.5	13.1	15.6	14.4
子宮がん	24.7	21.4	24.6	23.5



## 2 圏域別精密検査受診率（H21年～R3年 推移）

○中部の受診率は、10年間の推移では全体的に向上してきているが、他圏域と比べ低いか状況。特に胃がん、乳がん、子宮がんの精密検査受診率が低い。



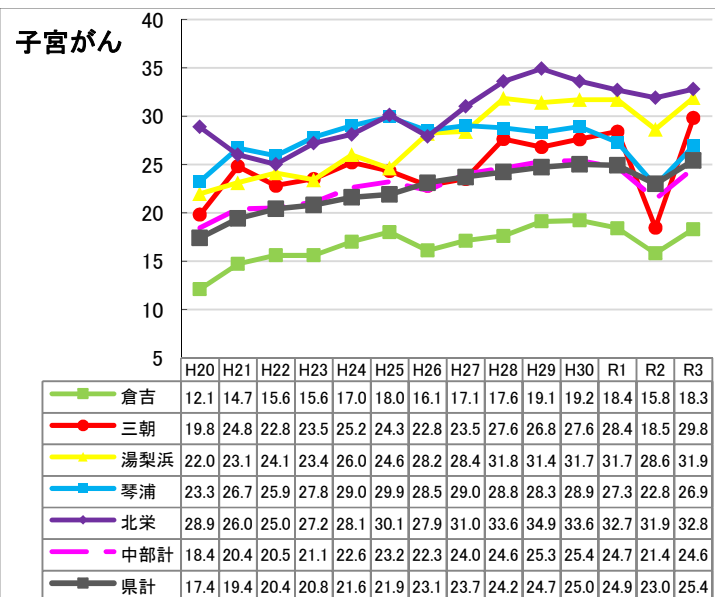
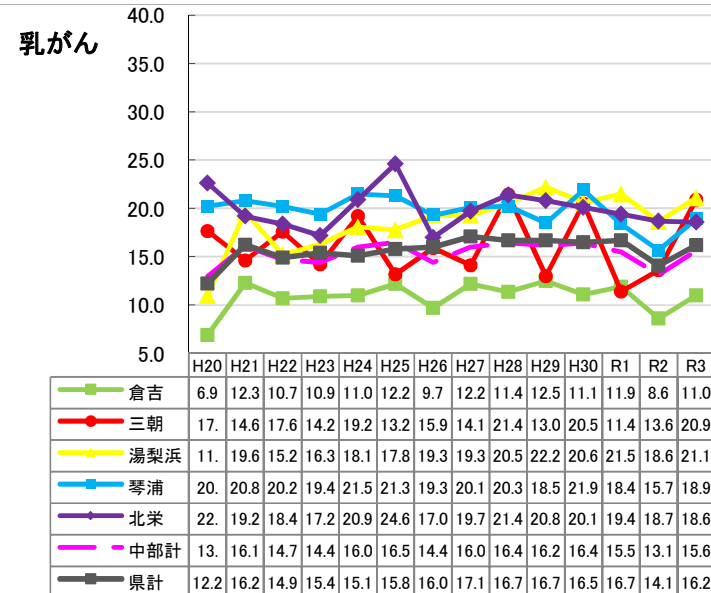
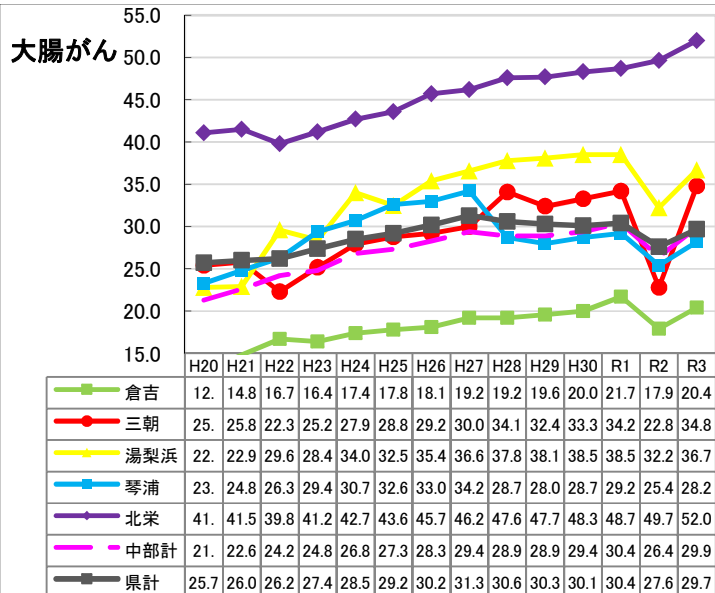
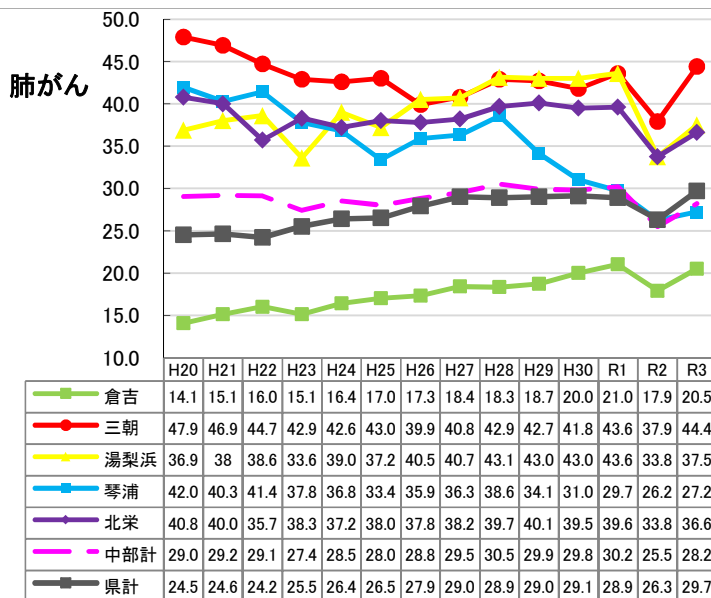
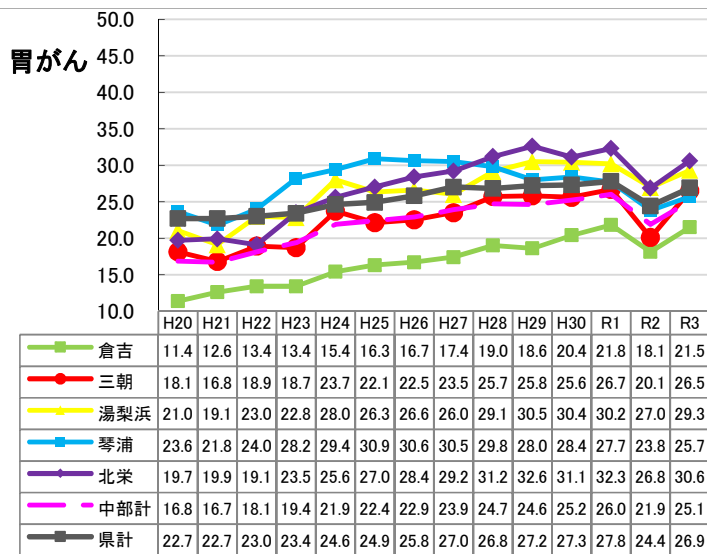




### 3 市町別がん検診受診率(H20年～R3年度推移)

○R3年度は、北栄町の乳がん以外すべて前年より増加であった。

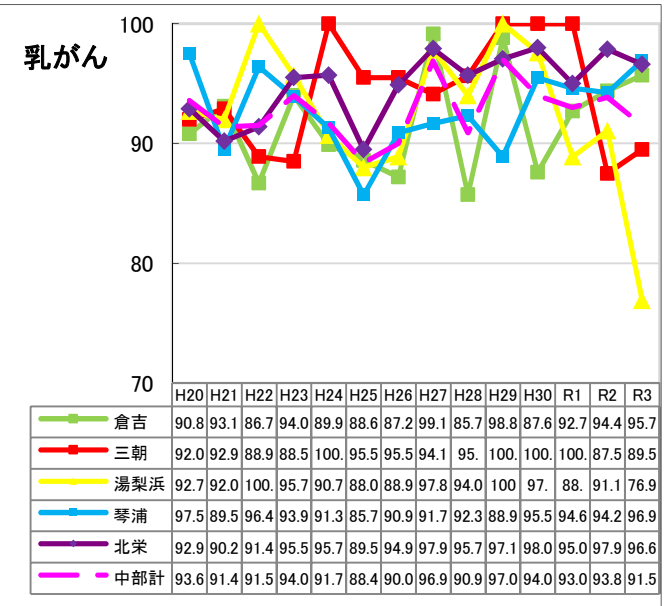
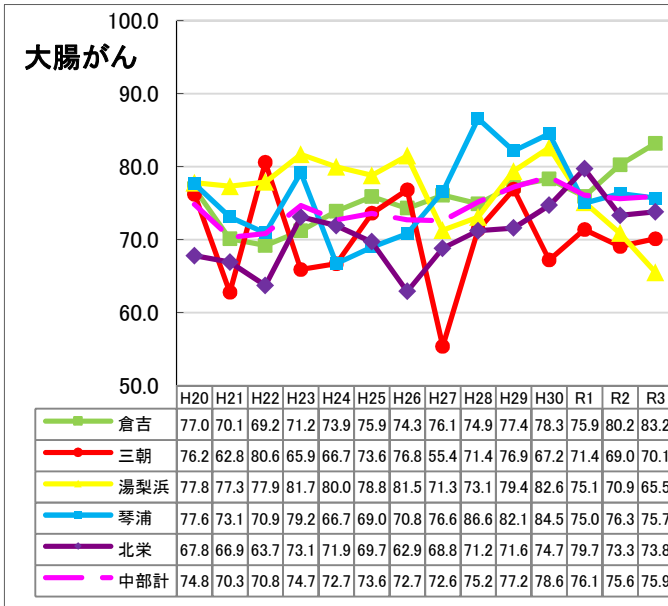
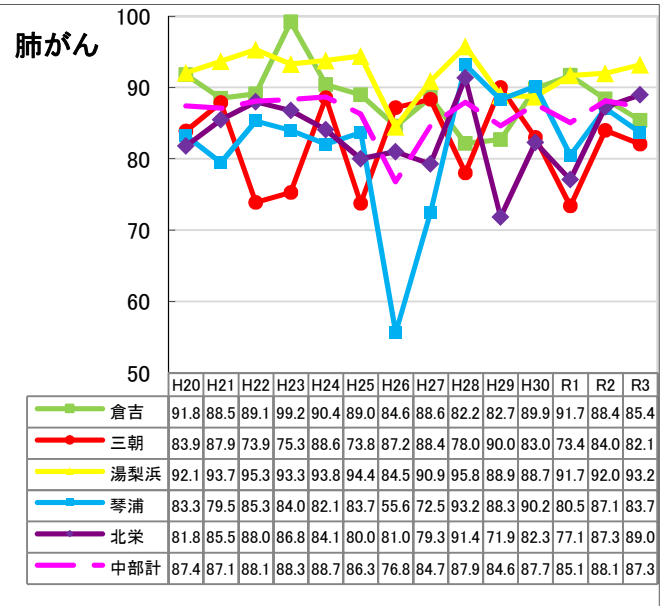
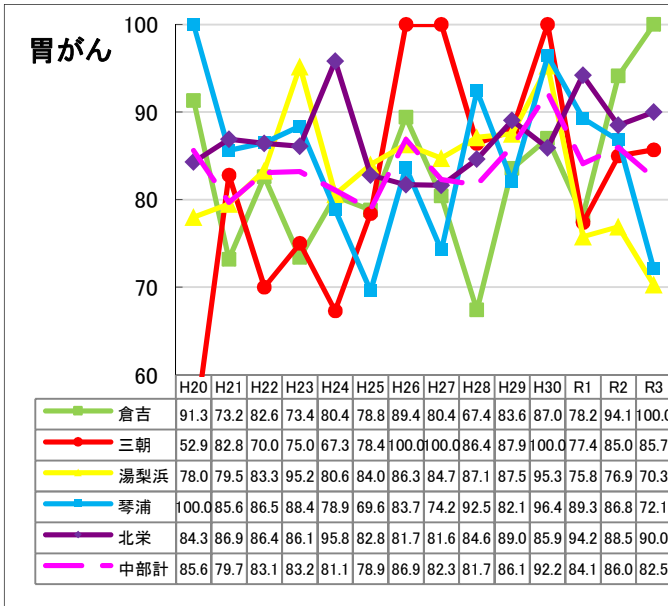
○R2年度はコロナの影響もあり、全市町でがん検診受診率の低下が見られた。R3年度以降は徐々にコロナ禍以前の検診受診率へ回復しつつある。





#### 4 市町別精密検査受診率(H20～R3年度推移)

○市町別の精密検査受診率では、全体としては前年(R2年)と比べ増加している市町が多い。一方で、湯梨浜町の乳がんや、琴浦町の胃がん等の一部の検診では、大幅な精密検査受診率の低下がみられた。



子宮がん ※精密検査対象者が少ないため、率ではなく実数で表示

単位:人

		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
倉吉	対象者	9	18	16	17	15	20	12	19	7	23	32	37	26	22
	受診者	8	15	11	12	9	14	7	14	4	21	27	32	23	19
三朝	対象者	1	2	1	3	0	0	4	2	1	1	14	5	2	4
	受診者	1	1	0	3	0	0	4	2	1	0	12	5	2	4
湯梨浜	対象者	0	2	5	3	6	5	5	5	3	9	8	9	9	4
	受診者	0	2	4	2	4	5	5	3	3	9	8	8	7	3
琴浦	対象者	4	7	17	7	12	4	6	3	2	1	10	14	9	3
	受診者	4	7	15	5	9	4	3	2	2	1	8	13	6	3
北栄	対象者	4	3	2	4	8	10	3	7	3	4	7	7	14	7
	受診者	4	2	1	3	8	8	3	6	3	4	6	7	13	3
中部計	対象者	18	32	41	34	41	39	30	36	16	38	71	72	60	40
	受診者	17	27	31	25	30	31	22	27	13	35	61	65	51	32



## 中部圏域における胃がん検診受診状況及びステージ別発見状況について

R6.2.28 倉吉保健所

### 1. 胃がん検診受診状況について

#### ●過去の状況(H16年度～20年度)(5カ年分平均)

- ・中部圏域は、東部・西部に比べ受診率が低く、またがん発見率も3圏域で最も低い状況であった。
- ・内視鏡検査はX線検査の3倍のがん発見率だが、中部圏域では内視鏡受診率が他圏域より極めて低かった。
- ・このことから、受診率向上及びがん発見率に有効な内視鏡検査の受診体制の強化を重点とし、モデル事業(胃がん死亡ゼロのまち中部プロジェクト事業(H23-H25))を実施した。

#### ●近年の状況(H28年度～R元年度)(4カ年分平均 ※) (※コロナの影響でR2年度は大幅な受診率の低下がみられたため。)

- ・内視鏡検査の受診率は、モデル事業開始前よりも改善・向上してきたものの、他圏域と比べると低い状況が継続。
- ・胃がん検診の受診率自体はまだ東部・西部と比べると低い。
- ・内視鏡検査の受診率は上がってきているが、引き続き胃がん検診の受診率を上げていくことが重要。

	検診受診率(%)		がん発見率(%)							
			うち内視鏡検査受診率(%)		X線		内視鏡		全体	
	H16-20	H28-R1	H16-20	H28-R1	H16-20	H28-R1	H16-20	H28-R1	H16-20	H28-R1
県	25.5	27.3	12.2	21.6	0.185	0.137	0.512	0.379	0.342	0.329
東部	27.5	29.3	12.9	22.9	0.182	0.116	0.574	0.323	0.366	0.278
<b>中部</b>	<b>22.3</b>	<b>25.1</b>	<b>4.2</b>	<b>17.9</b>	<b>0.179</b>	<b>0.176</b>	<b>0.484</b>	<b>0.451</b>	<b>0.237</b>	<b>0.372</b>
西部	25.0	26.4	14.8	22.1	0.193	0.136	0.467	0.407	0.355	0.363

### 2. ステージ別発見状況について

#### ●H17年度～20年度累計(4年間分) (出典:鳥取県健康対策協議会)

- ・中部圏域は、東部・西部に比べ、ステージIVで発見される割合が高い。
- ・また中部のステージIVでは、内視鏡検査で発見された者がいない。
- ・内視鏡検査はX線検査よりもがん発見率は高いが、中部圏域で内視鏡を実施する医療機関は少なかった。

ステージ	東部					中部					西部					計				
	車	施設	内視鏡	計	割合	車	施設	内視鏡	計	割合	車	施設	内視鏡	計	割合	車	施設	内視鏡	計	割合
I a	21	25	166	212	75.2%	26	2	21	49	71.0%	16	17	166	199	77.1%	63	44	353	460	75.5%
I b	1	7	21	29	10.3%	5	0	5	10	14.5%	2	2	13	17	6.6%	8	9	39	56	9.2%
II	2	5	11	18	6.4%	1	0	2	3	4.3%	3	3	10	16	6.2%	6	8	23	37	6.1%
III a	1	4	6	11	3.9%	0	0	0	0	0.0%	1	3	8	12	4.7%	2	7	14	23	3.8%
III b	0	1	2	3	1.1%	1	0	0	1	1.4%	1	2	2	5	1.9%	2	3	4	9	1.5%
IV	0	1	8	9	3.2%	6	0	0	6	8.7%	1	3	5	9	3.5%	7	4	13	24	3.9%
計	25	43	214	282	100.0%	39	2	28	69	100.0%	24	30	204	258	100.0%	88	75	446	609	100.0%
不明	1	3	11	15		0	0	1	1		1	2	23	26		2	5	35	42	

※ステージIV: がんが最初に発生した部位(原発巣)を超えて、離れた場所にある臓器に転移(遠隔転移)している状態。

#### ●H28年度～令和元年度累計(4年間分)

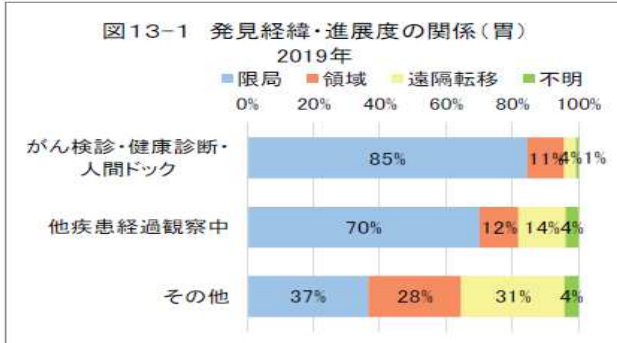
- ・中部圏域では、モデル事業開始前と比べると、ステージIVで発見される割合が減少してきている。
- ・ステージIVでは、内視鏡検査で発見される割合が増加。
- ・引き続き、ステージIVまでのより早い段階で発見できるような検査体制を継続していくことが重要。

ステージ	東部					中部					西部					計				
	車	施設	内視鏡	計	割合	車	施設	内視鏡	計	割合	車	施設	内視鏡	計	割合	車	施設	内視鏡	計	割合
IA	11	0	180	191	78.0%	13	0	81	94	74.0%	6	1	203	210	76.4%	30	1	464	495	76.5%
IB	4	0	11	15	6.1%	5	1	6	12	9.4%	1	0	21	22	8.0%	10	1	38	49	7.6%
IIA	2	0	11	13	5.3%	0	0	7	7	5.5%	3	0	7	10	3.6%	5	0	25	30	4.6%
IIB	1	0	2	3	1.2%	0	0	2	2	1.6%	2	1	7	10	3.6%	3	1	11	15	2.3%
IIIA	0	0	2	2	0.8%	0	0	2	2	1.6%	3	0	5	8	2.9%	3	0	9	12	1.9%
IIIB	0	0	9	9	3.7%	0	0	0	0	0.0%	1	0	5	6	2.2%	1	0	14	15	2.3%
IIIC	1	0	0	1	0.4%	0	0	4	4	3.1%	0	0	1	1	0.4%	1	0	5	6	0.9%
IV	3	0	8	11	4.5%	0	0	6	6	4.7%	1	1	6	8	2.9%	4	1	20	25	3.9%
計	22	0	223	245	100.0%	18	1	108	127	100.0%	17	3	255	275	100.0%	57	4	586	647	100.0%
不明	1	0	12	13		0	1	0	6		2	0	19	15		0	4	0	37	41



## がんの早期発見の重要性について ＝発見経緯と進展度の関係＝

(鳥取県がん登録事業報告書 (R5年3月) より一部抜粋)



●図13-1

胃がんの初期(限局)は「がん検診・健康診断・人間ドック」で最も多く発見されている。

●図13-2～7

他のがんにおいても、「がん検診・健康診断・人間ドック」で限局がんが多く発見されていることから、検診は早期発見に非常に有効である。

